



世界に誇れる、ものづくり

会社概要

湖北工業株式会社
2025年2月

湖北工業はアルミ電解コンデンサ用リード端子と光部品・デバイスのリーディングカンパニーです。

経営理念

経営理念

豊かな個性を尊重する
全員参加型の経営を実践し、
新しい価値の創造を通じて、
オンリーワン企業を目指す

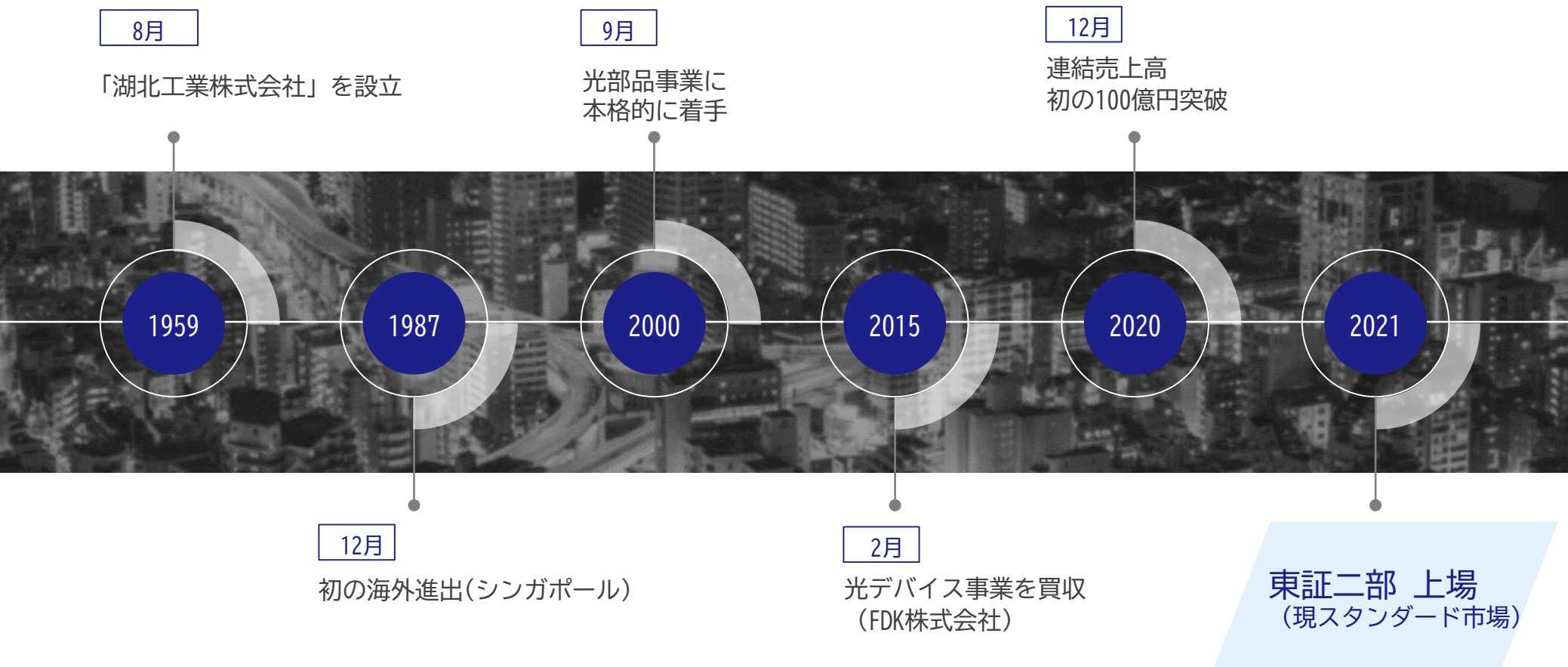


会社概要

社名	湖北工業株式会社 (KOHOKU KOGYO Co., Ltd.)
本社	滋賀県長浜市高月町高月1623番地
代表者	代表取締役社長 石井 太
設立	1959年8月
資本金	3億5千万円
事業内容	■ アルミ電解コンデンサ用リード端子の製造・販売 ■ 光ファイバ通信網用光部品・デバイスの製造・販売
連結子会社	7社（海外6社、国内1社）
従業員数	連結： 1,536名

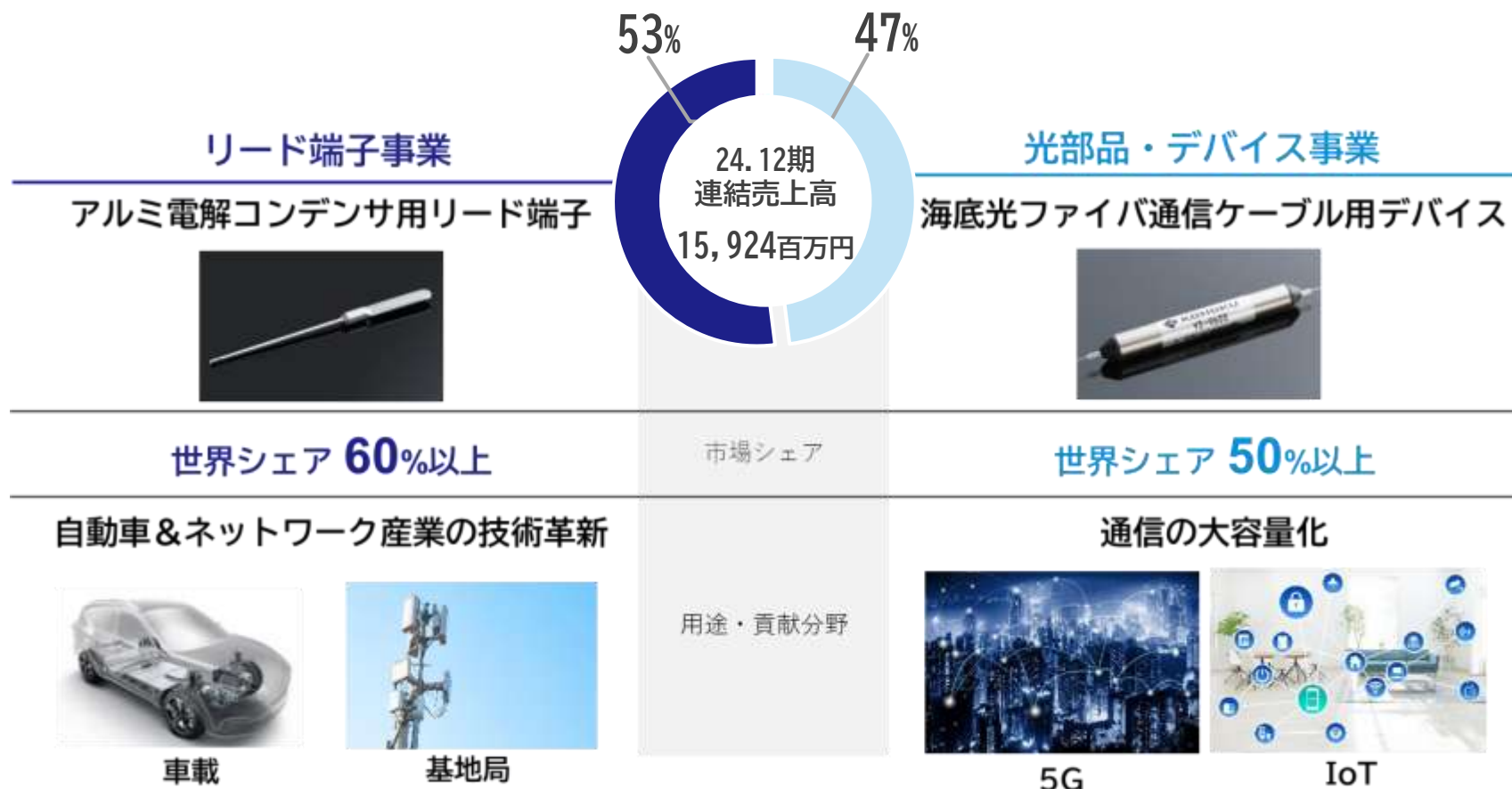
沿革

1959年の設立以来、弛まぬ技術革新が事業基盤を支える



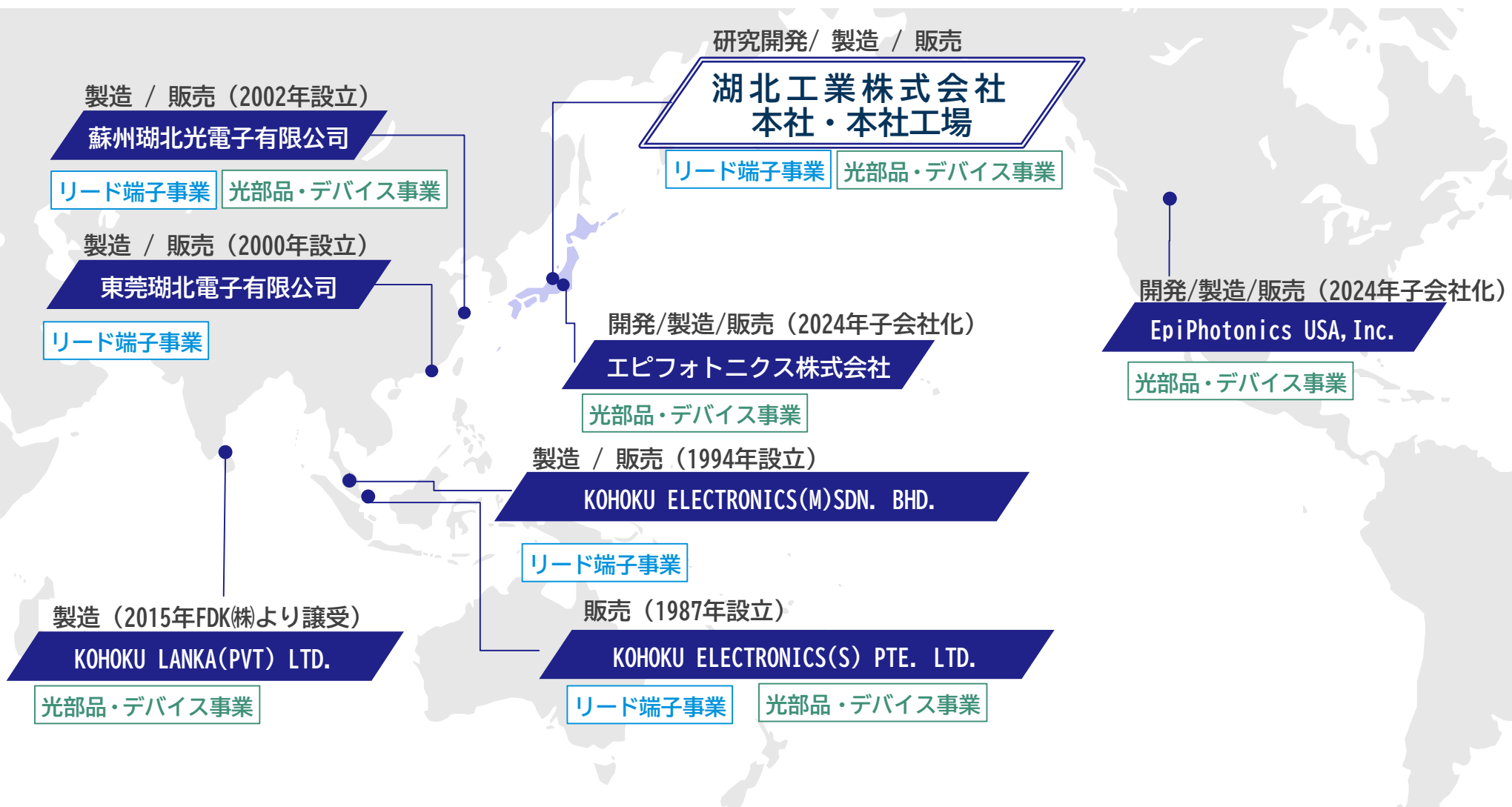
事業内容

アルミ電解コンデンサ用部品と海底光ファイバ通信用部品の2領域で世界をリードする



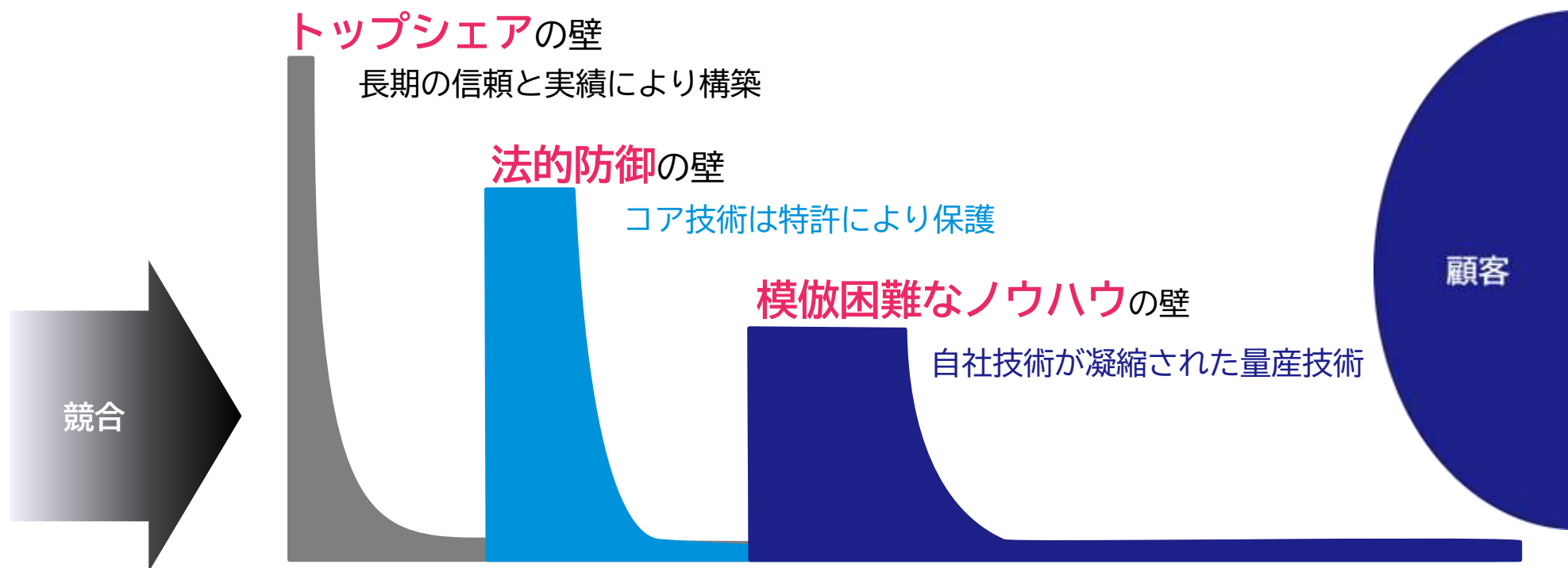
グループおよび拠点

6か国8拠点から全世界に向けて展開



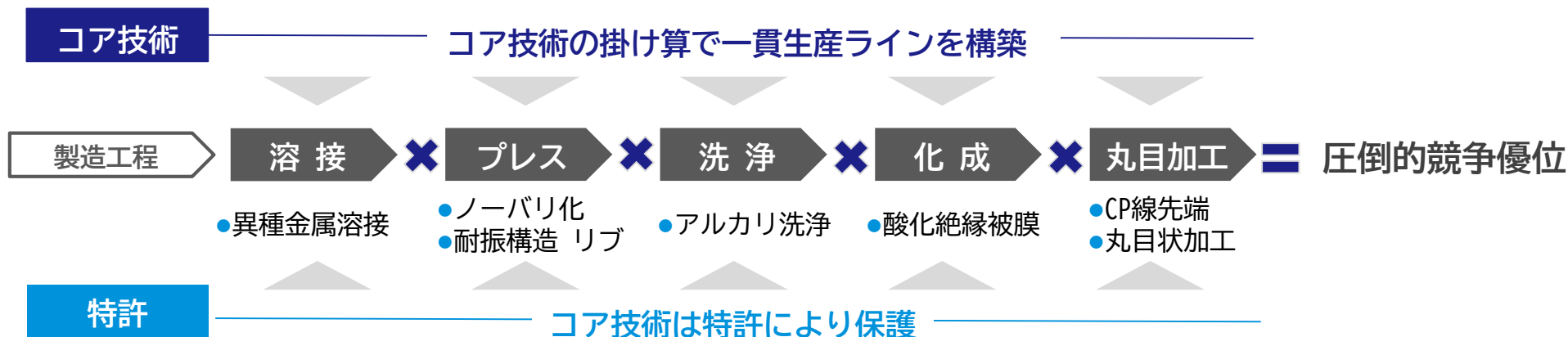
当社の強み・参入障壁

コア技術を核に三重の参入障壁を構築



当社の強み・参入障壁

コア技術は特許で保全、量産技術はブラックボックス化（自社開発の製造装置）



コア技術トピックス

- ☑ **自社開発の製造装置**
コア技術により差別化
- ☑ **超ハイスピード生産**
1秒間に5個のリード端子を生産
- ☑ **異種金属の溶接**
形状・ショート対策
- ☑ **量産**
リード端子の月間生産量は40億個
地球3.6周分の長さに相当
最大、車両2,000万台分
- ☑ **自社開発の電源**
溶接温度は2,000℃
1秒間に5本の高速溶接を実現

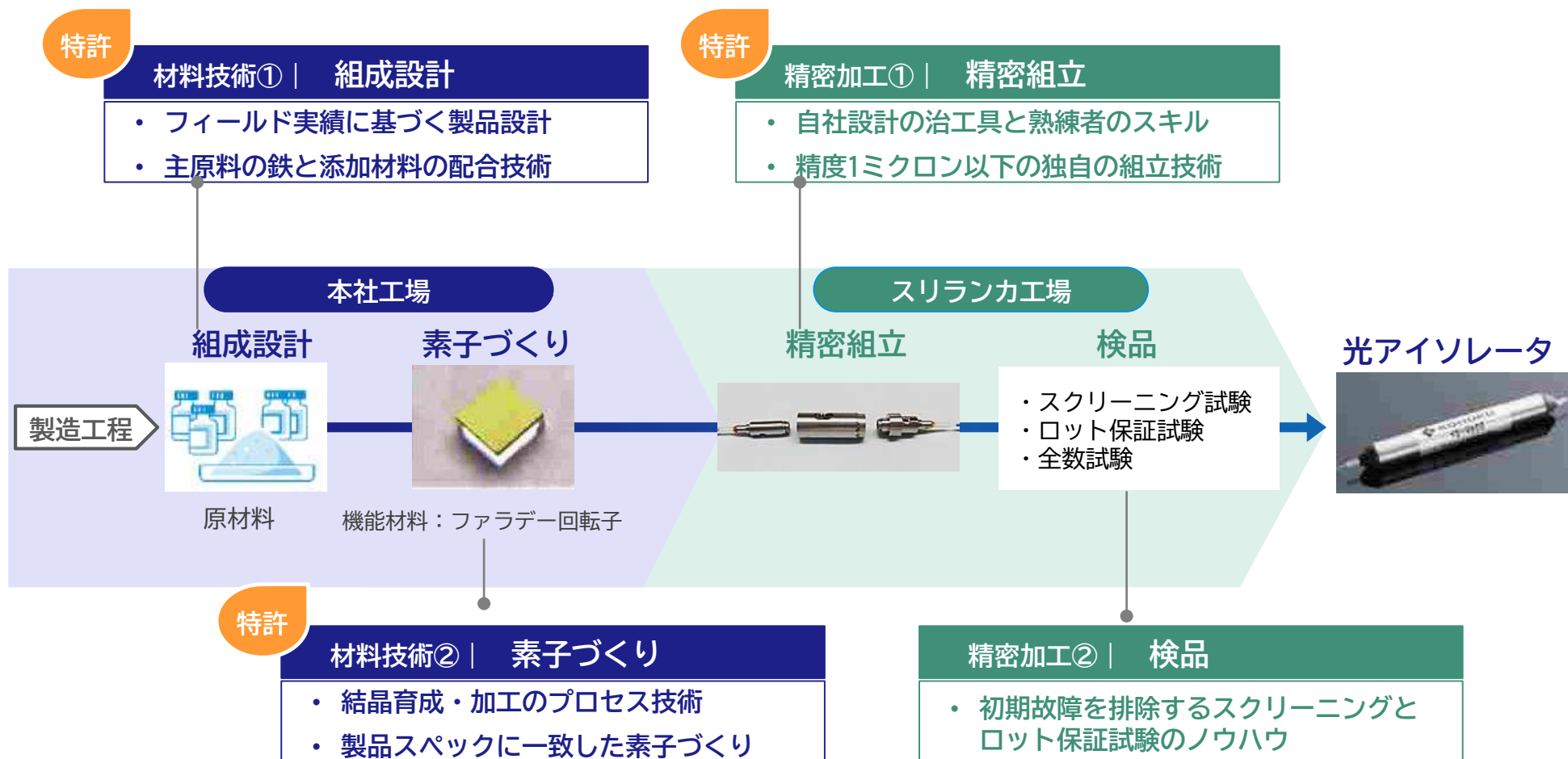
成長ドライバ

注力する自動車・通信関連市場においては、EV化・5G普及等の強い追い風が吹く



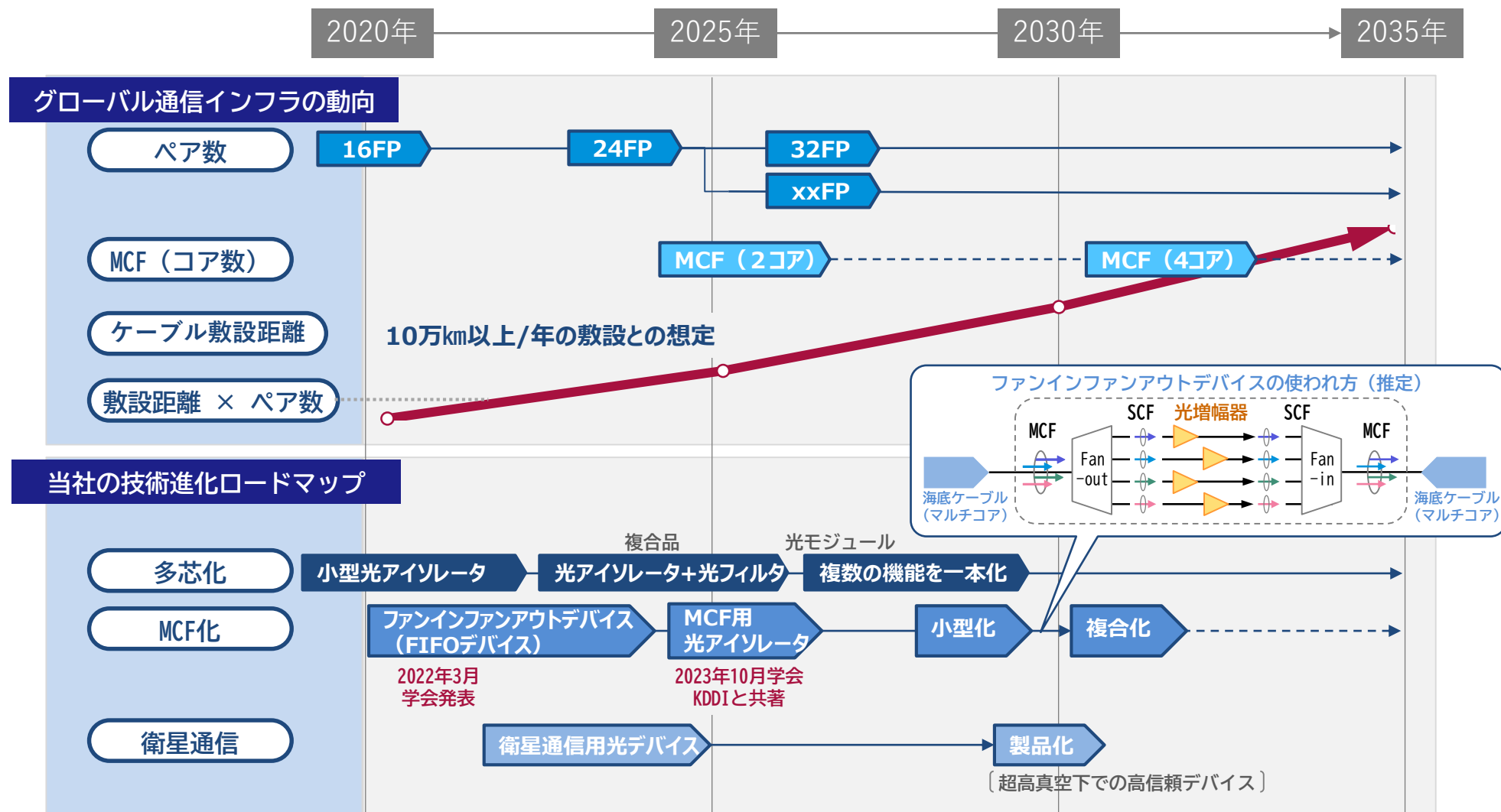
当社の強み・参入障壁

唯一無二の一貫生産、特許に裏打ちされた材料技術と精密加工技術で紡ぐ高信頼性



海底ケーブル市場における技術進化

生成AIの普及、IoTなど向けの情報通信量の増大を背景に技術開発を加速



新たな事業の柱へ-最先端事業の創出

製造技術のブレークスルーにより、半導体製造装置等への拡大を期待

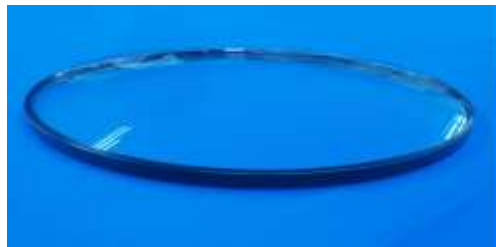
スラリーキャスト法による高純度石英ガラス の新たな市場を開拓

これまでは、大きなガラスの塊から削り出しや研磨を行う為、必要な形に加工するには多くのエネルギーが必要



自由度の高い形状に加工することができるため、成形する際の削り出しや研磨の工程を大幅に削減することが可能、材料のムダやエネルギーを大幅に削減

<SSG®を用いて製作した石英部品の事例>

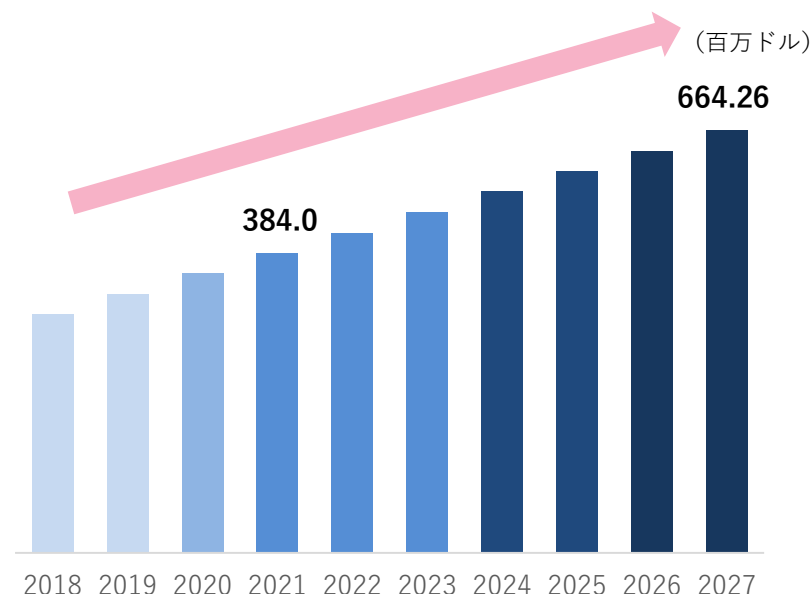


半導体製造装置等用セミドーム



半導体製造装置用大型リング

<高純度石英ガラス市場予想>



中期経営基本方針

経営ビジョン

オンリーワン企業の実現に資する研究開発、技術開発等を遂行していき、高収益事業を構築していく

中期経営基本方針

- 市場開拓による事業規模の拡大
- 構造改革による収益力の強化
- 新たな GNT（グローバルニッチトップ）事業の創出
- 未来を担う人材の育成
- グローバル経営管理体制の強化

次世代事業

コア技術を活用して育成

成長事業

シェア拡大と新製品開発を実現

基盤事業

収益力強化を実現

光部品・デバイス事業
コア技術：原材料からの一貫生産

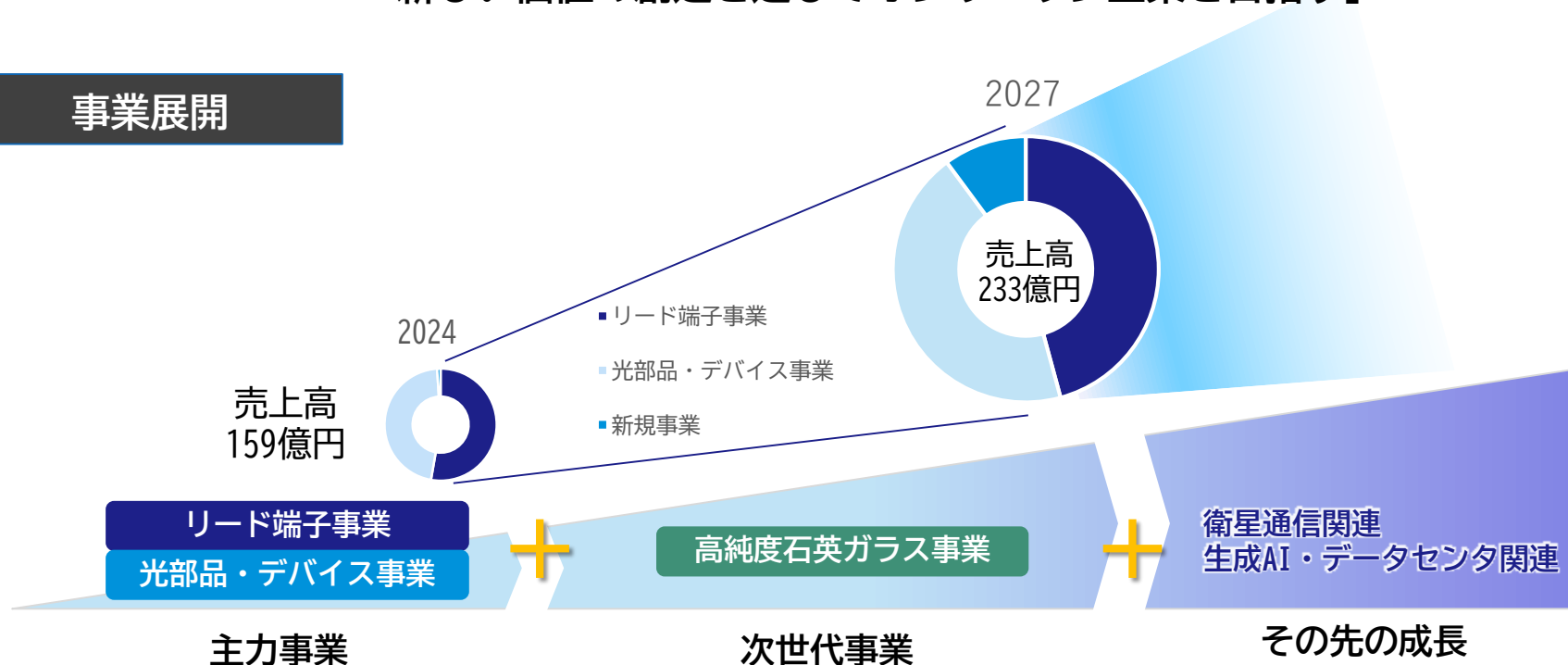
リード端子事業
コア技術：業界最高水準の量産技術

目指す姿・事業ポートフォリオの考え方

経営理念

「豊かな個性を尊重する全員参加型の経営を実践し、
新しい価値の創造を通じてオンリーワン企業を目指す」

事業展開



経営体制 の強化

ガバナンス強化

- 監査等委員会設置会社へ移行、サステナビリティ活動強化
- プライム市場に向けた体制強化

米原新拠点構想

- 第3、第4の柱育成の為に中核技術拠点
- 利便性改善による採用拡大と顧客アクセス向上

その他

- 事業部門別のROIC改善に向けた取り組み強化
- 従業員のモチベーションアップ、業績意識の向上ほか
- リード端子、光部品・デバイス他営業体制強化

2027年までの中期経営指標

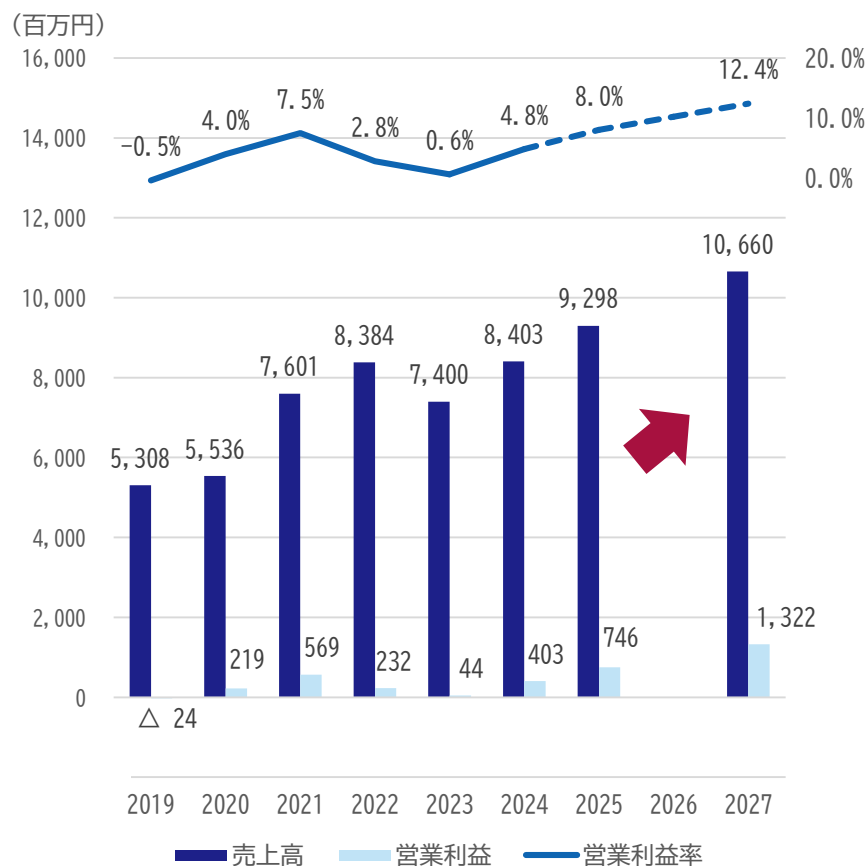
主力2事業の競争力をさらに高め、加えて第3の事業を成長軌道に乗せる

		2024. 12期 実績	2027. 12期 中期経営計画
成長性	売上高	159億円	233億円
収益性	営業利益	39億円	73億円
投資	設備投資	3年間の累計 約43億円	今後3年間で約94億円 (米原駅前新拠点54億円)
効率性	ROIC	12.2%	16%
	ROE	15.0%	18%
株主還元方針		連結配当性向：30%目標 DOE：3%以上	連結配当性向：30%目標 DOE：3%以上

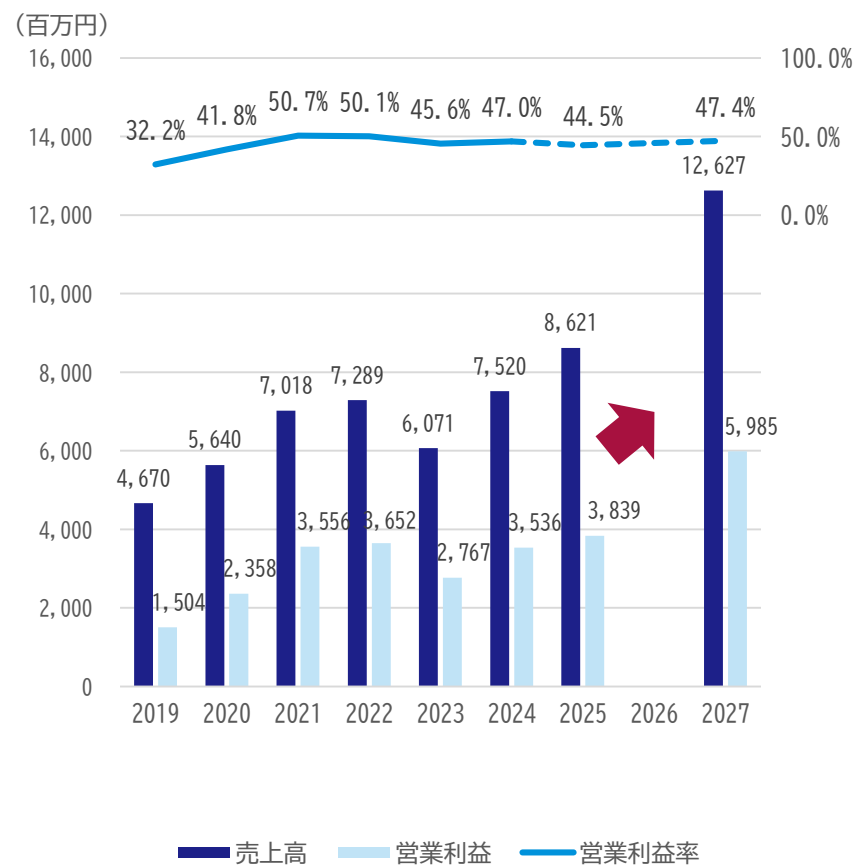
セグメント別の業績イメージ

主力2事業の成長に加えて高純度石英ガラス（SSG®）事業の貢献により、3年間で約1.4倍の売上を目指す

リード端子事業



光部品・デバイス事業(高純度石英ガラス事業等を含む)



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

湖北工業株式会社 IR担当

E-mail ir@kohokukogyo.co.jp

TEL 0749(85)3211 FAX 0749(85)3217
